

多文化キッズサロンの取組

1 設置目的

日本語を母語としない子どもが学習、相談及び交流できる地域の拠点として、多文化キッズサロン及びサテライトサロンを整備するとともに、困りごとや悩みに寄り添い、必要な情報や支援が届くよう、多文化キッズコーディネーターを配置し、学校や地域、NPO 等との連携を通じて、日本語を母語としない子どもの総合的な支援を行うことを目的に、令和6年4月から設置している。

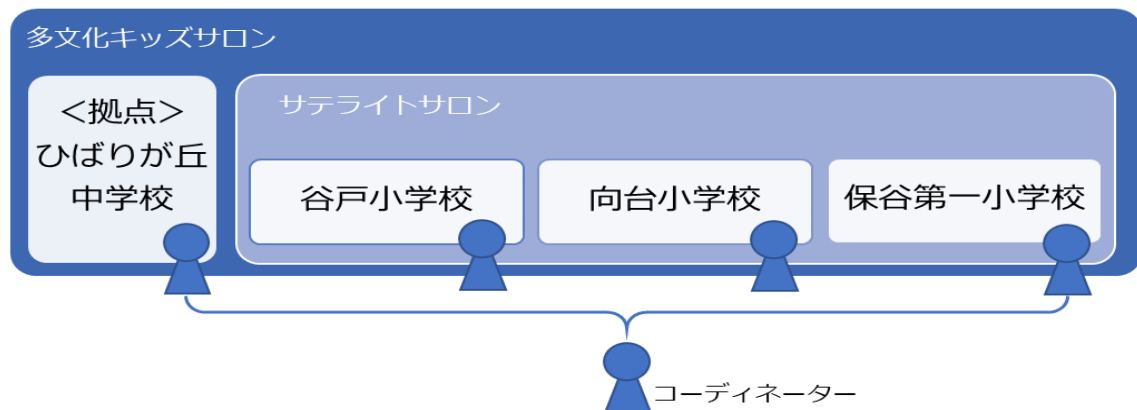
2 運営方法

子ども日本語教室を開催している西東京市多文化共生センター（NIMIC）に委託し、運営している。

ひばりが丘中学校を拠点とし、谷戸小学校、向台小学校、保谷第一小学校をサテライトサロンと位置づけている。

コーディネーターのほか、サテライトも含めた各キッズサロンにサブコーディネーターをそれぞれ配置している。

【イメージ図】



3 各サロンに備える機能と主な内容

(1) 学習機能

日本語能力の把握、日本語学習支援、教科学習支援、就学・進学支援

(2) 相談機能

子ども自身からの相談、保護者からの相談、学校からの相談、教育相談、生活相談、入学前説明会

(3) 交流機能

地域との交流イベント、先輩との交流イベント、子ども同士の交流イベント